

西東京市地域密着型サービス事業所に係る
指定申請等について

1 協議案件

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護新規指定

地図NO	指定期間	施設名	圏域	所在地	法人名
①	R5.3.1~ R11.2.28	SOMPOケア 在宅老人ホーム西東京定期巡回	中部	西東京市田無町四丁目2番11号 Aビル2階	SOMPOケア株式会社
㊦		保谷北町サテライト	北東部	西東京市北町六丁目1番28号	
①		保谷駅前サテライト	北東部	西東京市東町三丁目5番2号	

指定申請事業所位置図

○定期巡回・随時対応型訪問介護看護



地域密着型サービス事業所の指定審査表①

指定を受けようとする事業所	SOMPOケア 在宅老人ホーム西東京 定期巡回							
事業所の所在地	西東京市田無町四丁目2番11号 Aビル2階							
地域密着型サービス事業	定期巡回・随時対応型訪問介護看護							
指定年月日・指定期間	令和5年3月1日			令和5年3月1日 ～令和11年2月28日（6年）				
申請者	SOMPOケア株式会社							
代表者の職名・氏名	代表取締役			鷺見 隆充				
主たる事務所の所在地	東京都品川区東品川四丁目12番8号							
主な併設事業	訪問介護事業所、訪問看護事業所、居宅介護支援事業所							
事業所の概要	管理者		和田 理江子					
			資格		介護福祉士			
	計画作成責任者		和田 理江子					
			資格		介護福祉士			
	従業者 職種 員数	職種	訪問介護員等					
			定期巡回			随時訪問		
			専従	兼務	専従	兼務		
		常勤		8		8		
		非常勤		27		27		
		職種	オペレーター			看護職員		
			専従	兼務	専従	兼務		
		常勤		7	委託	委託		
	非常勤							
	オペレーターの資格		介護福祉士					
連携する訪問看護事業所（連携型定期巡回・随時対応型訪問介護看護）		SOMPOケア 在宅老人ホーム西東京 訪問看護 西東京市田無町四丁目2番11号 Aビル2階						
利用料		法定代理受領分		介護報酬告示上の額の1割・2割又は3割				
		法定代理受領分以外		介護報酬告示上の額				
介護・医療連携会議の有無		有 ・ 無						
事業所の視察実施日		令和5年1月11日						
審査基準の適否		人員基準		設備基準				
		適		適				
		運営基準		適				

事業所について

<p>指定を受けようとする事業所</p>	<p>SOMPOケア 在宅老人ホーム西東京 定期巡回</p>
<p>西東京市で本事業を行うに当たっての意気込み、PRポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西東京市内において、高齢者世帯、又は独居高齢者の方々の住み慣れた地域や自宅での生活が継続できるよう支援したく、そのためには24時間の在宅介護が必須であること考える。 ・既にサービス付き高齢者向け住宅を5施設展開しており、人材を融合することにより、24時間365日対応できる在宅介護の限界値を引き上げることと、事業収益性の確保も可能であると考えている。 ・高齢者の方やそのご家族および全従業員に対して「人間尊重」を経営の基本とし、安心・安全・健康に資する最高品質の介護サービスの提供ならびに働き甲斐と働きやすい職場の提供を行い、「世界に誇れる豊かな長寿国日本」の実現に貢献することを理念としている。 ・市内において、有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）3か所・サービス付き高齢者向け住宅5か所・指定訪問介護事業所2か所・指定居宅介護支援事業所1か所・指定訪問看護事業所1か所の運営実績があり、地域にも精通している。
<p>地域との連携体制の計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間の在宅介護サービスを提供する範囲を半径2キロ圏内に想定、定期巡回サービスと随時対応サービス及び随時訪問サービスを効果的に展開できるように事業説明の機会を設け周知する。 ・地域の介護事業者ガイドブックへ掲載する。 ・介護・医療連携推進会議の開催を通じ、サービスを利用された方の事例などを関係各所、ならびに地域住民の方々へ共有し、サービスの理解を得る。 ・また、地域内の他社定期巡回事業所の運営推進会議にも出席し、（相互出席）情報交換を行い、当社のみでなく地域内の定期巡回事業所と地域の方を支援していく。 ・定期的に居宅介護支援事業所への営業や説明会（オンラインあり）も行い、定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス定着を図る。 ・在宅での看取りや医療依存度が高い利用者様の受け入れについて自社訪問看護のみならず地域の訪問看護事業者とも連携を強化し、在宅での看取りや可能な限りの医療行為の対応を支援する。 ・事業所のホームページに定期巡回サービスを載せ、積極活用を行い地域の方にも広く知っていただく。
<p>緊急時の対応計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自社全サービス共通の感染予防マニュアル・災害マニュアル・緊急対応マニュアルを整備し、対応方法を明らかにしている。 ・随時対応サービスでの留意点を訪問介護員とも共有し、利用者様の状態観察、個別の現病に伴う対応方法も必要時、適切な対応ができる環境づくりを構築する。 ・また、基幹事業所、サテライトにかかわらず、留意事項の伝達が可能な環境を整備する。 ・非常災害時には、BCP、消防計画に沿って職員、利用者様の安全を確保する。

(2) 認知症対応型共同生活介護指定更新

地図NO	指定期間	施設名	圏域	所在地	定員	法人名
①	R5.2.1～ R11.1.31	グループ ホーム花	北東部	東京都西東京市下保谷一丁目8 番20号	18人	株式会社花
②	R5.3.1～ R11.2.28	グループ ホームの どか	南部	東京都西東京市南町二丁目14番 19号	18人	株式会社パー ソンフード

指定更新事業所位置図

○認知症対応型共同生活介護事業所



地域密着型サービス事業所の指定更新審査表①

指定更新を受けようとする事業所	グループホーム花				
介護保険事業所番号	1375400429				
事業所の所在地	東京都西東京市下保谷一丁目8番20号				
地域密着型サービス事業	認知症対応型共同生活介護				
	介護予防認知症対応型共同生活介護				
当初指定年月日	平成17年2月1日				
指定更新年月日・指定更新期間	令和5年2月1日	令和5年2月1日～令和11年1月31日			
申請者	株式会社 花				
法人代表者の職名・氏名	代表取締役	佐々木 厚			
主たる事務所の所在地	東京都西東京市下保谷一丁目7番22号				
主な併設事業	—				
事業所の概要	代表者・資格	佐々木 厚	介護支援専門員		
	管理者	菊地 優加			
		資格	社会福祉士・介護福祉士		
		研修	認知症介護実践研修・認知症対応型サービス事業管理者研修		
	計画作成担当者	ユニット	① 菊地 優加	② 佐々木 由恵	
		資格	社会福祉士・介護福祉士	看護師・介護支援専門員	
		研修	認知症介護実践研修	痴呆介護実践者研修	
	従業者 職種 員数	職種	① 介護職員		② 介護職員
		常勤	5人		4人
		非常勤	4人		13人
		常勤換算	7.4人		6人
	居室の面積	① 9室 10.3㎡(1室) ≥ 7.43㎡			
		② 9室 10.3㎡(1室) ≥ 7.43㎡			
	利用定員	18人	ユニットごとの定員①9人 ②9人		
利用料	法定代理受領分	利用者負担割合に準ずる			
	法定代理受領分以外	介護報酬告示上の額			
協力医療機関	練馬東クリニック	診療科名	内科		
耐火・準耐火建築物の別	—				
実地検査日	—				
稼働率(最近3カ年) ※一年の平均値	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	90.7%	96.5%	91.5%		
運営推進会議の開催状 況(最近3カ年)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	6回	4回	2回		

<p>利用者の方からの声など</p>	<p>コロナ禍で利用者の直接商店での買い物は控えるようになりましたが、「寝たきりさせないケア」の方針の元に下肢筋力低下防止のために散歩をしています。17年余りの活動で近所の方もよく声を掛けてくれます。入居の相談では施設の選択に「利用者が職員と一緒に散歩している姿をよく見かけたから」と話す方はたくさんいます。</p> <p>計画作成担当者の看護師が個別に体操を行いながら利用者の認知症の進行や健康状態を確認して、家族に報告しています。最近では体調不良による救急搬送も少なく、利用者からは「ここにいた方が家にいるよりも、家族も私も安心できる」、家族からは「安心してお任せしている」との声をいただいています。</p>
<p>事業所のPRポイント</p>	<p>「寝たきりにさせないケア」への思いは強く、自分の足で歩き、外で暑さ・寒さにより季節を感じて欲しいと思っています。食事や行事で季節を表すことは出来ますが、自身が屋外で感じる季節感などは認知症の進行を緩和させる効果があると信じています。</p> <p>ターミナルのその日まで食堂で他の利用者と一緒に過ごされた方がたくさんいます。グループホームでの最後は食事の摂取が難しく、胃瘻など経管栄養を望まない方がほとんどです、スタッフは往診医からの補助食を中心に、本人は何なら召し上がって頂けるかを試しながら提供しています。「他の利用者や職員と関わりを続けながら最後の時を迎える。」といったターミナルケアを目指しています。</p>
<p>地域との交流で実施している内容</p>	<p>地域の特養主催の落語会への参加、老人福祉会館で地域の高齢者との体操、竹林公園で地域の高齢者との体操会など、地域に住む高齢者として地域のいろいろな活動に参加してきましたが、利用者の高齢化・重度化により参加できる利用者も減り、最近ではコロナ禍により駅前スーパーへの買い物や図書館を使うことなどは控えるようになって地域との交流は少なくなっています。</p>
<p>事業所で実施している研修の内容 (研修テーマ、参加率等)</p>	<p>法人内でテーマを出し合い、資料を用意して情報交換を行っています。令和2年から3年は12個のテーマにより勉強会を実施しています。①接遇・マナー②虐待③法制度④アセスメント⑤看取り⑥事故対策と防災⑦認知症⑧コミュニケーション⑨自己支援⑩感染症⑪急変時の対応⑫ケアプラン</p> <p>法人全体で虐待防止の研修や感染症対策の研修を実施しています。参加者は施設全体の1割程度ですが、参加出来なかった職員に対しては資料を配付し、施設内では毎月のミーティング時に必ず虐待防止研修を行っています。</p>
<p>サービス面での専門職の関わり(具体的事例・課題) (例、医療職との連携、栄養改善、口腔機能向上等)</p>	<p>法人では専門職が介護福祉士を中心に、社会福祉士、理学療法士、看護師、栄養士などが在籍しています。様々な専門性を持つ専門職が質の高いケアを提供するために共に働いています。理学療法士、看護師による個別体操、栄養士による嚥下に不安がある利用者に対する食事の提供(きざみ・極刻み・ミキサー食)などです。医療は当施設の看護師や往診医と連携により24時間連絡が取れるようになっています。他にも、マッサージ師や歯科医などの外部機関とも関わりを持ち、心身機能の維持・向上に努めています。</p>

事業展開を進めていく うえでの課題	現在、当施設の看護師と進めている事ですが、利用者個人個人に合わせた個別の体操を実施しています。スタッフ全体が利用者一人一人の病気や身体状況をより深く理解し、支援の幅を広げられたら良いと考えます。 施設が経年劣化により備品の買い換えや修繕が必要になってきています。エアコンの交換や空室時に壁や床の修繕を行っており、順次空室になりしだいに実施する予定です。
----------------------	---

地域密着型サービス事業所の指定更新審査表②

指定更新を受けようとする事業所	グループホームのどか				
介護保険事業所番号	1395400086				
事業所の所在地	東京都西東京市南町二丁目 14 番 19 号				
地域密着型サービス事業	認知症対応型共同生活介護				
	介護予防認知症対応型共同生活介護				
当初指定年月日	平成 23 年 3 月 1 日				
指定更新年月日・指定更新期間	令和 5 年 3 月 1 日	令和 5 年 3 月 1 日～令和 11 年 2 月 28 日			
申請者	株式会社パーソンフード				
法人代表者の職名・氏名	代表取締役	鶴田 なみ子			
主たる事務所の所在地	東京都西東京市南町二丁目 14 番 19 号				
主な併設事業	－				
事業所の概要	代表者・資格		代表取締役	鶴田 なみ子	
	管理者		鶴田 篤司		
			資格	介護福祉士・ホームヘルパー2級・認知症ケア専門士	
			研修	実践者研修（基礎・専門）・管理者研修	
	計画作成担当者		ユニット	③ 鶴田 篤司	④ 黒澤 多美子
			資格	介護福祉士・ホームヘルパー2級	介護福祉士・介護支援専門員
			研修	実践者研修（基礎・専門） 管理者研修	実践者研修（基礎） リーダー研修
	従業者 職種 員数	職種	③ 介護職員	④ 介護職員	
		常勤	6 人	5 人	
		非常勤	1 人	1 人	
		常勤換算	7 人	6 人	
	居室の面積		① 9 室 10.01 m ² （1 室）≧ 7.43 m ²		
			② 9 室 10.01 m ² （1 室）≧ 7.43 m ²		
	利用定員		18 人	ユニットごとの定員①9人 ②9人	
	利用料		法定代理受領分 利用者負担割合に準ずる		
法定代理受領分以外 介護報酬告示上の額					
協力医療機関		知念医院・ミタカピース デンタルクリニック	診療科名	内科・歯科	
耐火・準耐火建築物の別		－			
実地検査日		－			
稼働率(最近3カ年) ※一年の平均値	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	99.3%	98.3%	95.5%		
運営推進会議の開催状 況(最近3カ年)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	5 回	6 回	0 回		

<p>利用者の方からの声など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員さんが笑顔で接してくれるので毎日安心しています。 ・入居前は一人暮らしで、不安でしたが、今は安心してよく眠れるようになりました。 ・ごはん作りはおまごともみたいで楽しいです。毎日おいしいものを温かく食べられて幸せです。 ・せんとく物たたみや洗い物など好きなことを出来ることに生きがいを感じています。職員さんに声をかけられるのが、うれしいです。 ・出かける事が好きなので、買い物や散歩に出られることが楽しみです。 ・以前通っていたデイサービスでは、職員さんに見張られて入浴していたので、とても嫌な思いをしていました。ここは時々声をかけてくれますが、ゆっくり入ることができるので気持ち良い時間となっています。
<p>事業所のPRポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームのどかを運営する株式会社パーソンフードは「その人らしさを支援する事」を理念に掲げ、グループホームのどかでの日頃の支援の中でご入居者1人1人のその人らしさを大切に入居者の生活を支える実践をしております。 ・在宅時に晩酌の生活習慣のあった方に対しては、飲酒を継続できるようにしています。（個別のおつまみなども入居者と共に買い物をしております） ・一緒に畑で収穫した野菜などを調理しその時々季節を楽しんでおります。収穫した野菜で入居者とメニュー決めをして、調理を一緒に行っています。 ・ほぼ毎日入居者と散歩や買い物に出かけ地域とのかかわりを持っています。 ・御家族などの面会や外食ができるよう積極的に支援しています。 ・歌や体操のDVDなども活用し楽しく体を動かせる環境を作っています。 ・週1回ボランティアと共に散歩に出かける方もいらっしゃいます。

<p>地域との交流で実施している内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の買い物は、地域のお店に出掛けます。 ・お餅つきや避難訓練に地域の方を呼んでいます。 ・近隣の保育園児が年2回ホームに訪問され、園児とのふれあいを楽しまれています。 ・小学校の運動会、どんと焼き、大学の文化祭特養ホームで行われるお祭り等に参加しています。 ・地域の老人クラブ主催の昼食会に2か月に1回招待され交流を楽しまれています。 ・児童センター主催のうどん作りに参加し、入居者が小学生達に、うどん作りを教えながら交流を楽しまれています ・地域のレストランへの外食などの希望があれば行き、楽しみのある生活となるよう支援しています。 ・月1回近隣の美容室から美容師が来られ理美容が行われています。髪染め希望の入居者に対しては、美容院への送迎をおこなっています。 <p>以上の中には、新型コロナウイルス感染の流行により、中止しているものがありますが、状況に応じ徐々に再開したいと予定しています。</p>
<p>事業所で実施している研修の内容 (研修テーマ、参加率等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りに関する研修（この3年間で3件の看取りがあり、その都度主治医や訪問看護師と振り返りの研修を全職員で職員会議にて行う。） ・感染症対策の勉強会（消毒等に対して西東京市グループホーム分科会主催の研修に参加したスタッフが主となり、研修で得た内容の勉強会を実施。） ・虐待防止、身体拘束に対する勉強会（身体拘束防止委員がテーマを決め研修を半年に1回実施。） ・ホーム内研修は、年度始まりに全スタッフにアンケートを取り希望する研修ができるよう予定を立てています。（年3回） <p>【今までに行ったホーム内研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の症状について ・薬の作用について（薬剤師を講師に招き） ・ホームの理念について ・口腔ケアについて（歯科衛生士を講師に招き） ・高齢者に多い疾患について（主治医を講師に招き） ・医療行為について（訪問看護師を講師に招き）

<p>サービス面での専門職の関わり(具体的事例・課題) (例、医療職との連携、栄養改善、口腔機能向上等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療職(主治医・訪問看護)との連携を持ちご家族への説明や看取りの支援に力を入れている。 ・週1回の訪問歯科で口腔ケアや口腔機能向上に力を入れている。
<p>事業展開を進めていくうえでの課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の人材育成。 現在働いているスタッフの質や技術を更に向上し、入居者の安心・安全を確保し地域で選ばれる事業所であり続ける。 ・認知症ケアの質向上 ・グループホームのどかの待機者数は常時40名～50名程度いる為その方々の期待に沿えるよう情報提供を行う。(部屋の空き状況や他のグループホームの情報) ・収入の安定。 スタッフに長く働いてもらうための昇給や賃金アップを目指し必要な加算は算定し離職を防ぐ。

2 報告案件

(1) 地域密着型通所介護指定廃止

NO	廃止日	事業所名	圏域	所在地	定員 (人)	法人名
①	R5. 1. 31	sakura de 富士町	北東部	西東京市富士町 二丁目7番19号 メゾン富士 1階	10	株式会社 SAKURA パワー
②	R5. 1. 31	sakura de 保谷	北東部	西東京市下保谷 二丁目1番1号	10	株式会社 SAKURA パワー

廃止事業所位置図

○地域密着型通所介護事業所

